

様式10

令和3年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	みのお市民活動センター
指定管理者	特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設概要	非営利公益市民活動の促進を目的とする施設。会議用施設や活動用施設を市民等の利用に供し、市民活動促進のための各種事業を実施
市支出額	指定管理委託料…28,350,095円（うち2,500,000円は支援金原資）※税抜 キューズモール施設借上料…25,280,716円 キューズモール施設共益費…5,084,926円

2. 事業の実施状況

情報収集及び提供に関すること	ホームページの管理・運営（随時）、ニュースレターの発行（年2回）、グループガイドの発行（隔年 ※令和3年度末に発行）
講座の開催、その他啓発に関すること	NPOフェスタ（年1回）、講座（年6回）
相談に関すること	各種専門家相談（年1回）、一般相談（随時）
交流の促進に関すること	利用者協議会、ぼんぼんファミリーひろば（月1回※うち2回中止）、マンスリー多文化サロン（月1回※4月～6月はオンラインのみ）、共催防災イベント
調査・研究事業	公共的空間の活用、箕面市内市民活動団体実態調査
支援に関すること	市民活動支援金募集・審査・交付、報告会の実施（各年1回）、交付後のサポート等
場所及び施設の提供に関すること及びセンター施設の利用に関すること	開館時間：午前9時～午後10時 休館日：12月29日～1月3日
その他施設を活用した市民サービス等	災害ボランティアセンター設置の協力（箕面市災害支援ネットワーク会議）、証明書発行業務（火曜～日曜日、年間493件発行）、期日前投票所会場提供（11日間）、プレミアム付商品家販売（2回（24日間、30日））
情報収集・提供（自主事業）	メールニュース（月2回程度）、ホームページの管理・運営（随時）、ボランティア情報サイト管理・運営（月1回更新）
団体の運営・活動に関する連絡、相談、啓発、支援（自主事業）	活動・情報の交流会等の支援（まんどろ火祭り等 ※令和3年度は祭り開催中止）
市民活動に関する人材育成（自主事業）	ボランティア・実習生受入、NPO広報サポーターpromo（令和3年度は受入なし）、高校啓発事業（週1回程度）等
市民活動を促進するための社会的な環境の整備（自主事業）	団体との連携（実行委員会等参画、映画上映会、）、ネットワーク構築（もっとネット会議、北摂NPO・SB支援のための緊急補助金プロジェクト等）
その他の自主事業	来館啓発（ほっとコンサート：年1回、おさがり服の交換会：年4回）、中間支援組織の研修、震災復興支援活動等

3. 利用者の満足度

（1）利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	当センターは非営利公益市民活動の応援を趣旨とするが、施設としてはボランティアに参加している方ばかりではない幅広い方々にご利用いただいていることが分かった。全般に施設の設定備や運営に関する不満は稀であり、概ね満足いただいているといえる。感染症対策についてもほとんどの方に適正と評価をいただいている。
-------------------	--

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	施設を利用されている非営利公益市民活動団体メンバーの方9名にご参加いただき意見交換を行った。設備・備品に対する質問、要望や先行予約の要望、オンライン会議のサポート等の要望を受けた。団体間の意見交換の提案もあり、実現すべく日程等検討することとした。
------------	---

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	利用終了時に提出される利用報告書のご意見欄や窓口で口頭にていただいたご意見・ご相談について、定期的に開催している内部会議で共有・検討し対応している。
-----------	--

4. 収支状況

令和3年度（2021年度）、指定管理者である法人全体としては経常収益34,446,769円に対し経常費用33,292,145円、税引後の当期正味財産増加額は1,154,624円となった。コロナ禍により引き続きイベント等の縮小や中止・延期があり、費用は収益の約96.6%とやや少なくなっている。

5. 特別提案の状況

(なし)

6. 指定管理者の自己評価

利用者アンケートの結果からは、市民満足度アンケートでの同様な設問と比較し、当センターの利用者はボランティア活動を行っている割合が高い様子がうかがえる。原因・結果の順番ははっきりしないが、当センターとして、非営利公益市民活動の促進に資する施設趣旨にある程度貢献できているとよいのではと思われる。

また、感染症対策への評価としては、無回答を除いて9割ほどの回答者から適切との評価を受けており、ほぼ理解を得られているものと考ええる。

さらに、運営に対しては概ね満足の評価をいただいております。引き続き良好な施設維持に心掛けたいと思う。自由記述の要望の中には施設趣旨や必要な費用を鑑みてそれに沿った対応が難しいものがあるので、回答を館内に掲示する等行い理解を得ていきたい。

意見交換会では、設備に関する意見、先行予約の要望、オンライン活用の際のサポートの要望、事務ブース利用団体に絞った意見交換や勉強会の開催についての提案等があった。また、会議用施設を利用してオンライン会議を開催した際に指定管理者が相談に乗ったことについて感謝の声があり、コロナ禍への対応で役に立つことができたと感じる。

また、本来の指定管理事業とは別であるが、証明書発行業務、期日前投票所での会場利用、プレミアム付き商品券の販売等を行い、市民サービスにも貢献した。

施設管理以外の事業では、コロナ禍の影響を受けながらもできるだけ実施していった。

夢の実支援金では、申請団体の施設内への立ち入りが認められなかったためプレゼンテーションを中止して書類審査で交付決定をしたが、申請内容の確認や団体とのやり取りの面である程度の影響はあったものと思われる。

講座では、対面によらない情報発信を意識した動画企画講座を連続で開催するなど、時宜に応じた企画を実施できた。感染拡大の時期と重なり急遽オンラインに切り替えて実施したものもあったが、中止せずに予定の回数を実施できたことはよかったと考える。またNPOフェスタでは講座と連動させて動画出展枠を新たに設けた。

調査研究事業として、かやのさんぺい橋のスペースを活用した市民交流の場「Bar Bridge」を実験的にを行い、公共空間活用の可能性を探ることができた。さらに市内の市民活動団体にコロナ禍の影響を訊ねるアンケートも行い、その結果は「みのお市民活動グループガイド2022」に概要を掲載した。

全般にコロナ禍による困難はあったものの、必要な対応を柔軟にできたものと考ええる。